

## 高等学校での教育ボランティアを行うことについての学生のニーズについて

- ・ 高校志望の学生にとって、ニーズはあると思われる。しかし、大学としてはこれまで通り小中学校のボランティアを中心として、高校へのボランティアは、どうしても高校を受験したい、ボランティアを試してみたいと考える少数の学生に対して行いたい。（高校志望の学生は学年を追うごとに減少する。2年次15名程度→4年次6名程度。高校は採用枠が狭く不合格になる場合が多いため、受験までいく学生をしばらくしたい）すでに、母校の高校から依頼されて手伝いに行っている学生がいるようだ。また、教職大学院では、ストマスが実習校で実習日以外もボランティアとしてお手伝いをしているケースがある。
- ・ 高校教諭の採用試験を受検し、就職を希望する学生については、高校でボランティアや実習を行いたいとの要望があります。ただし本学の場合は、毎年ではなく、数年に1人程度となります。
- ・ 本学では、小学校～高等学校の教員志望の学生が在籍しているためにニーズは高いと思います。特に、授業研究についてのニーズが高いようです（「高校の授業の様子を知りたい」「可能ならば一部授業をしたい」など）。

## 高校から学生に教育ボランティアを周知する方法

- ・毎年継続している教育ボランティアでは、4月はじめに教職支援室に申し込みの後、4月の教育ボランティアガイダンスに担当者に来てもらい、分科会で学生に説明をしてもらっている。10月にもガイダンスを実施している。ガイダンス開催は教職支援室で学生に周知している。

学生の申し込みの流れは、大学HP参照。 <https://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/2302/>

新規の場合は、4月の申し込みの前に、前年度の教育ボランティア委員会で加入の審議を行っている。

- ・本学の場合、2年次は通年・必修科目として「教職サービス・ラーニングⅠ（中・高・養）」の科目があり、4・5月に市町の各自治体の教育委員会担当者のボランティアの受け入れについてご説明をいただいています。この説明を聞いた上で、学生は各自でボランティアの登録や活動を開始します。このことから、高校での教育ボランティアに関する情報についても、年度初めの4月中にいただけるとありがたいです。学生への情報配信については大学側で行います。

- ・一番良いのは、関連の教職関係の授業などで募集情報を出すことだと思います。それを通じて体験した人が「良かった」という感想を友人に漏らすことで、口コミで広がっていくと思います。

## 学生が教育ボランティアに参加する際の謝金や旅費、また保険など費用について

- ・交通費は最低必要。保険は、大学で加入を奨めている保険に加入しているかを確認の上、ボランティアに入っている。ただし、部活動支援ではケガの加害者になるケースなども考えられ、通常の保険でよいか確認する必要がある。
- ・保険については、本学の場合、学生自身の傷害等に関わる保険については後援会の補助を受けて全員が入っています。また、ボランティア先にて事故等を起こした際の賠償保険についても、教職課程の学生は全員が加入しています。謝金・旅費については、小学校や中学校でのボランティア活動については市町の自治体からいただいておりますので、高校についても実費程度で結構ですので、いただくと学生も助かるかと思えます。
- ・謝金はある方が人が集まるとは思えます（今の学生は学費の一部をアルバイトで稼いでいることが少なくない）。旅費（交通費）は必須だと思えます。保険については、募集の主体によると思えますが要相談だと思えます。

## 高校での教育ボランティアを活性化するためのアイデア

- ・謝金（市町村のSATなどでは、時間単位で謝金を支払っているようです。同じ学校でのボランティアで、高校では支給されないとなると、小中の方が魅力的なのでは。）
- ・できれば、何らかの形で大学の教育活動の一環となれば、安定して実施できるのでは。
- ・部活動の連携となれば、部活動単位であり動きやすいのでは。
- ・主旨が異なるかもしれませんが、学生さん達が行っている地域のボランティア活動に高校生を参加させていただき、大学生から学ぶ機会を得るというのも価値がありそうです。
- ・教育ボランティアを単位などに還元できるシステム
- ・チラシの作成、配付（いつ、どこで、どのような活動を行うのか、メリットは何なのか等）教育ボランティア経験者の声を入れながら

# 教員育成協議会養成部会 拡大ワーキング

---

令和6年2月8日（木）15:00～

ZOOMによるオンライン開催



# 教員育成協議会養成部の取組内容について

---

1. 大学生・高校生等への教員の魅力発信

2. 教員養成について大学と県教委の意見交換・情報共有

# 本日のテーマ

---

## 教育ボランティアの促進について

(現状)

教育ボランティアは教員の魅力発信及び教員育成の視点でも効果が見込める取組であるが、現状では、県立高校においては限られた学校において限られた人数でのみ行われている。

＜参考＞ \* 令和5年7月に実施したアンケート調査より

○令和4年度に教育ボランティアを受け入れた県立高校・・・2校

○令和4年度に教育ボランティアとして活動した学生数・・・14名

○実施した教育ボランティアの内容

- ・ 放課後の学習支援、部活動指導のサポート、課題研究のサポートなど

## 今後の方向性

---

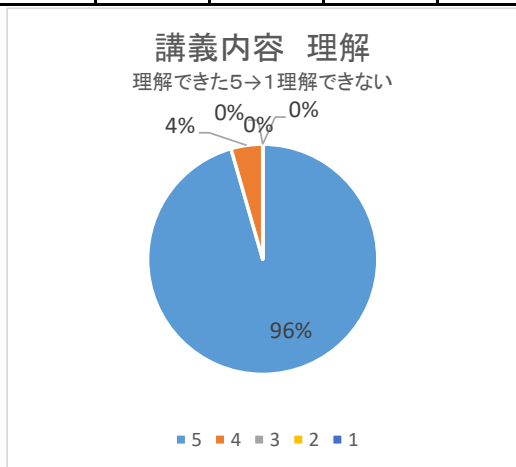
教育ボランティアを、**教員の魅力発信**の重要な機会として継続的、かつ持続的に県立高校で実施するために必要となる内容を検討し、県立高校及び学生に発信する。



## 山梨県教員選考検査説明会 春実施大学アンケート結果

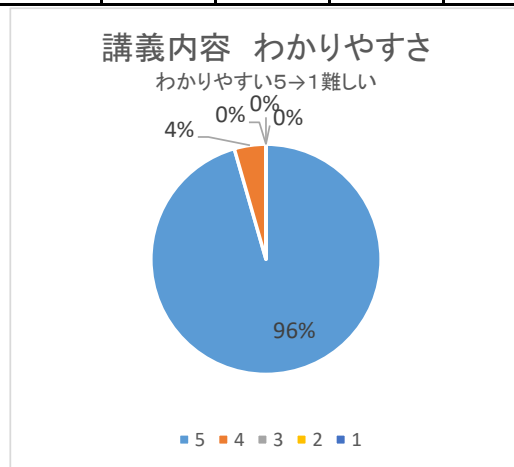
講義内容 理解 回答者90名

5	4	3	2	1
86	4	0	0	0



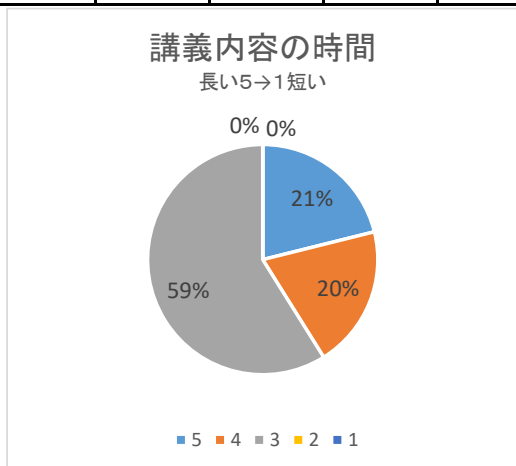
講義内容 わかりやすさ 回答者90名

5	4	3	2	1
86	4	0	0	0



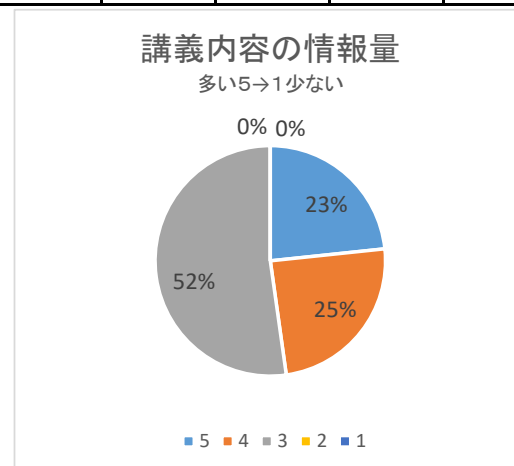
講義内容の時間 回答者90名

5	4	3	2	1
19	18	53	0	0



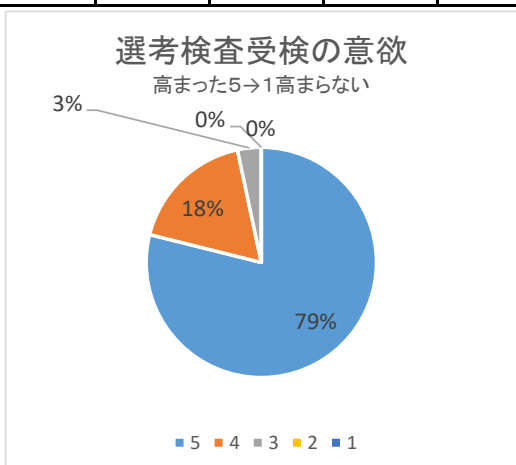
講義内容の情報量 回答者90名

5	4	3	2	1
21	22	47	0	0



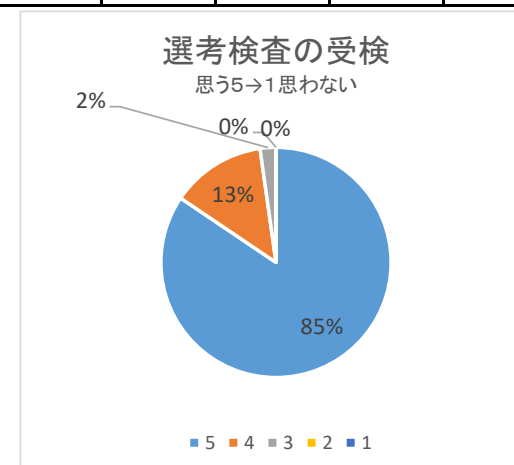
選考検査受検の意欲 回答者90名

5	4	3	2	1
71	16	3	0	0



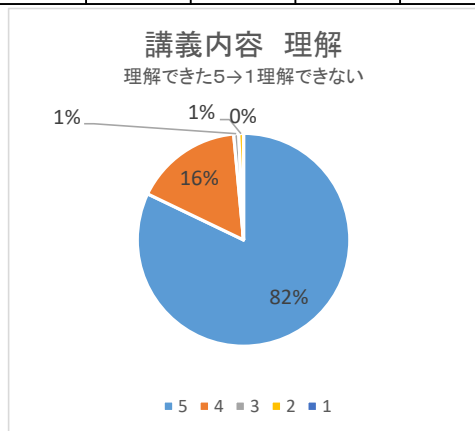
選考検査の受検 回答者90名

5	4	3	2	1
76	12	2	0	0

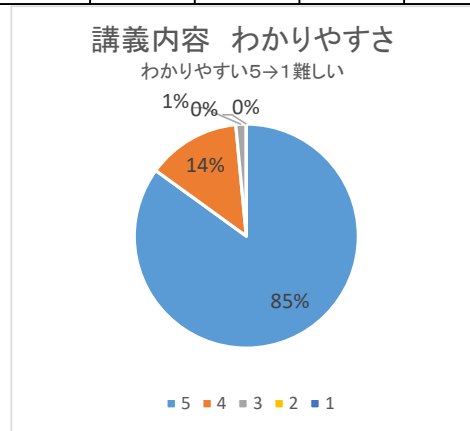


## 山梨県教員選考検査説明会 秋実施大学アンケート結果

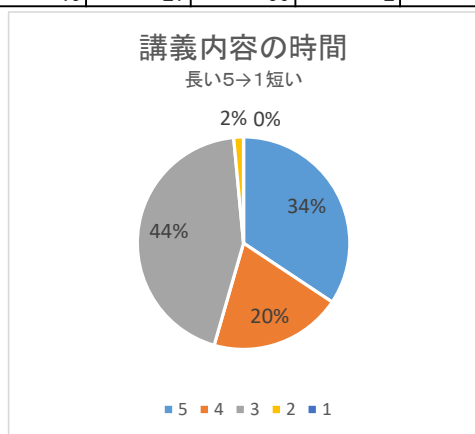
講義内容 理解		回答者134名				
5	4	3	2	1		
110	22	1	1	0		



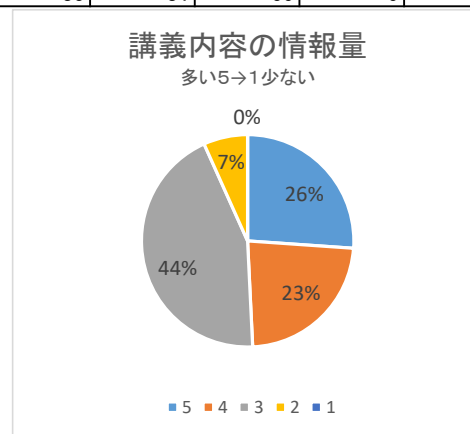
講義内容 わかりやすさ		回答者133名				
5	4	3	2	1		
113	18	2	0	0		



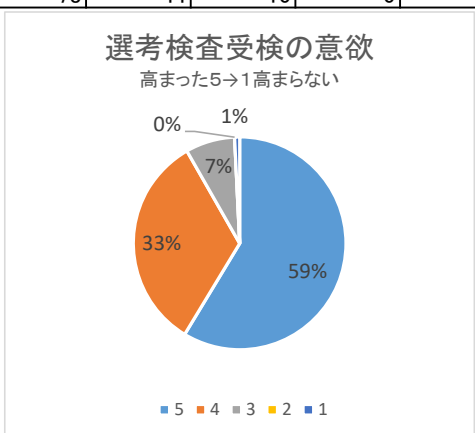
講義内容の時間		回答者134名				
5	4	3	2	1		
46	27	59	2	1		



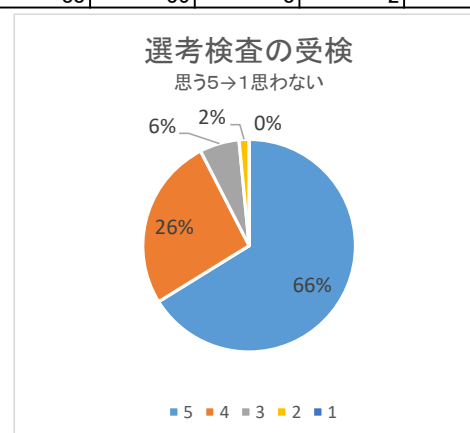
講義内容の情報量		回答者134名				
5	4	3	2	1		
35	31	59	9	0		



選考検査受検の意欲		回答者133名				
5	4	3	2	1		
78	44	10	0	1		



選考検査の受検		回答者133名				
5	4	3	2	1		
88	35	8	2	0		



# 学び続ける教員を支える持続可能な研修会の構築に向けて

## ～令和5年度新研究主任研修会より～

### R5年度新研究主任研修会 新方式案「3つのコンセプト」

- ① 講義型研修から受講者参加型研修へ
- ② 参集型研修からオンライン型研修へ
- ③ マネジメントサイクル（PDCA サイクル）を意識した研修へ

### 【コンセプト達成に向けた5つの取り組み】



#### ① 研修のオンライン化

- ・ 3回の研修会のうち2回を、Ye1 事前視聴を含むオンライン研修会に変更
- ・ 知識伝達的な内容は Ye1 コンテンツで行い、研修会は討議を主とする研修形態にする（研修時間の短縮）



#### ② 校内研究シートの活用

- ・ PDCAサイクルを意識したオリジナルのワークシートを作成
- ・ 全3回の研修会を通して、シートを完成させながら、第1回で設定した自校の課題について深めていく



#### ③ 討議グループの編成の工夫

- ・ 実践内容、受講者の討議したい内容に合わせてグループを編成
- ・ 情報交換のグループを参加者の課題に沿って振り分け
- ・ 事前に Web アンケート調査を実施し、受講者のニーズに沿うグループを編成



#### ④ 討議方法の工夫

- ・ 討議の目的に合わせた討議方法
- ・ 令和5年度は、「クリティカルフレンド」という手法で実施（質問中心の対話で個人個人の問題解決を進める手法）



#### ⑤ 成果や課題の共有方法の工夫

- ・ 研修会終了時の各受講者の振り返りを「:Padlet（オンライン掲示板アプリ）」を用いて全体で共有
- ・ 研修会終了後も、各自作成した校内研究シート（研修会終了課題）を受講者全体で共有できるようにする（センターHPにて）
- ・ 研修時間の柔軟性

### 【第3回研修会の事後アンケートより】

- ・ 研修内容の項目において 99%が肯定的回答（否定的回答は0）
- ・ 研修形態の項目において 96%が肯定的回答（否定的回答は0）

#### 受講者が感じた本研修会の良かった点（上位3つ） アンケート記述より

- ① グループ編成 ② 研修形態・研修時間の設定（研修時間の短縮） ③ 討議方法

## 背景

- 教師の養成・採用・研修等の在り方について中教審が答申(R4)
  - ・研修履歴を活用した資質向上
  - ・「新たな教師の学びの姿」の実現
- 改定やまなし教員等育成指標により、新たに重点項目を提示
  - ・教員主体の授業から児童生徒主体の授業への転換
  - ・全ての子供の学ぶ機会やチャンスをつぶさない教育
- 教員の長時間勤務など働き方改革は依然として課題
- 不登校等への対応やICT活用推進に向けた県の支援機能強化
  - ・総合教育センターの相談支援、ICT教育推進を組織再編

## センター研修の成果と課題は

- △管理職による人材育成を支援する研修履歴システムを導入
  - ▼教師の学びを変革する研修のあり方を研究していく必要性
- △教員育成指標に基づく研修実施により資質向上に貢献
  - ▼重点項目への対応、網羅的から脱却した研修精選が必要
- △負担軽減に向け、オンデマンド・オンライン研修を積極的に導入
  - ▼オンライン研修等においては教員同士の情報交換が不足
- △▼児童生徒支援、ICT教育推進に係る研修は引き続き強化が必要

令和6年度研修計画  
立案に向けて

【課題対応に必要な視点は】

授業観・学習観・研修観の転換

ICT・教育データの利活用推進

多様な子供の発達支持的指導

【基本コンセプトは】

研修計画の3つの重点事項

児童生徒一人一人の特性を生かしながら主体的な学びと発達を支える伴走者としての資質能力を育成

## 育成指標の重点項目の強化

- 育成指標の重点項目を踏まえ研修を精選
  - ・重点項目に資する研修内容の充実
    - 校長のマネジメント力の向上
    - 多様な児童生徒への実践的な指導力・対応力の向上
- 理論と実践の往還を視野に入れた研修
  - ・理論の実践化、実践の理論化を重視
  - ・事例研究や先進的実践等も積極的に導入

## 教育DXの推進

- 各論に踏み込んだより実践的研修を実施
  - ・各教科で特性を生かした活用を模索しつつ令和の日本型教育の具現化を推進
  - ・教育データの活用、業務改善など、学校の教育DXを促進する研修を実施
- 使うことより使って何を変えるかを重視
  - ・目指す姿、ニーズに応える研修の実施
  - ・先端的取組、好事例のデータベース化

## 新たな教師の学びを具現化

- 教師の学びの転換に向けた研究スタート
  - ・PDCAに基づく探究的研修の実践研究
    - 受講者が課題を決め、実践し、成果を共有する新たなスタイルの研修
    - センターは受講者の実践をサポート
- 子供たちの学びと教師の学びは相似形
  - ・教師自身が「個別最適な学び」と「協働的な学び」を体験し、還元できる研修会

主体的な  
受講推奨  
の取組

「研修マイページ」の改修

※研修履歴・研修会の検索機能の充実

研修情報の発信強化

※特色ある研修会の発信

専門性や学校運営参画に必要な  
資質・能力の向上

目指す  
ところは

山梨の教育を担うに足る教員(👩🏫)を育成するセンター研修の実現

👩🏫 ICTを活用し、多様な子供たちに個別最適な学びと協働的な学びを実践しながら、「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒」を育てる教員

# 研修観の転換について

## (1) 社会的背景

### 急激に変化する時代

- 社会の在り方が劇的に変わる  
「Society5.0 時代」
- 先行き不透明な予測困難な時代
- 社会全体のデジタル化・オンライン化、DX加速の必要性

### 子供たちに育むべき資質・能力

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要。

### 学び続ける教師

高度専門職として新たな知識・技能の習得に継続的に取り組むことが必要。

## (2) 国の方針

### ①令和3年1月中教申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」

**教職員の姿** 教職生涯を通じて学び続ける・学びを最大限に引き出す・主体的な学びを支援する伴走者

### ②令和4年12月中教申『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修の在り方について」

#### 新たな教師の学びの姿

- ・ 子供たちの学び（授業観・学習観）とともに教師自身の学び（研修観）を転換し、「新たな教師の学びの姿」（個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じた、「主体的・対話的で深い学び」）を実現
- ・ 養成段階を含めた教職生活を通じた学びにおける、「理論と実践の往還」の実現
- ・ 教師の学びの姿も、子供たちの学びの相似形である。・ 探究的な学びをデザインしていくことが必要。

## (3) 独立行政法人教職員支援機構(NITS)の研修観

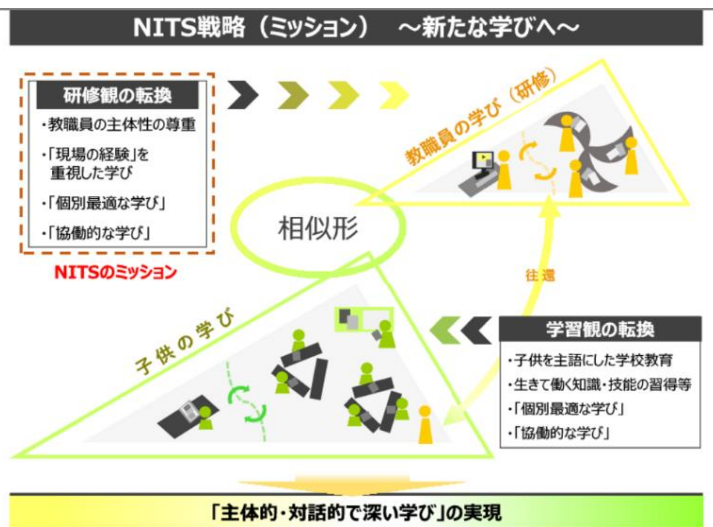
### ○令和4年7月

「NITS 戦略～新たな学びへ～」より

#### 研修観の転換

戦略 1：新たな研修像の創出

- **研修全体の「質」の向上**  
研修デザインの三角形  
「受ける研修」から「求める研修」へ
- **「探究型」研修の開発**  
自己との関わりを意識して  
課題の本質に向き合う
- **研修のベストミックス**  
対面 リアルタイム  
オンライン オンデマンド



「主体的・対話的で深い学び」を実現することは、  
子供の学びのみならず、教師の学びにも求められている。

## (4) 総合教育センターでの取組

### ○研修計画の3つの重点事項

#### 育成指標の重点項目の強化

- ◆ 育成指標の重点項目を踏まえ研修を精選
- ◆ 理論と実践の往還を視野に入れた研修

#### 教育DXの推進

- ◆ 各論に踏み込んだより実践的研修を実施
- ◆ 使うことより使って何を変えるかを重視

#### 新たな教師の学びを具現化

- ◆ 教師の学びの転換に向けた研究スタート
- ◆ **子供たちの学びと教師の学びは相似形**

### ○主体的な受講奨励の取組

- ◆ 「研修 MyPage」の充実(研修履歴・研修会の検索機能の充実)
- ◆ 研修情報の発信強化(特色ある研修会の発信)

▶ 専門性や学校運営参画に必要となる資質・能力の向上

# 研修履歴の活用について

研修履歴の作成と活用が  
これまで以上に重要に！

## (1) 教育職員免許法及び教育公務員特例法の一部改正

### ◆免許状の更新制に関する規定の削除等

### ◆研修履歴の作成及び資質の向上に関する指導助言等

- ①任命権者は、校長及び教員ごとに研修等に関する記録を作成しなければならない
- ②指導助言者は校長及び教員に対し資質の向上に関する指導助言等を行うものとする。その場合に、校長及び教員の資質の向上に関する指標及び教員研修計画を踏まえるとともに、①の記録に係る情報を活用する。

各教師の研修履歴を記録することを義務付け。  
この記録を活用した教師の資質向上に関する指導助言等を行う仕組みが制度化され、令和5年4月から施行。

## (2) 研修受講履歴の記録に関する県の方針

### ◆県：県独自の「研修情報システム」を継続運用

- ・平成23年度より運用してきた県独自のシステム
- ・受講に関わる管理や研修受講履歴活用の面で、教特法改正に対応することが可能
  - ✓センター主催の研修については自動で記録され、個々での履歴の出力が可能
  - ✓センター主催以外の研修については、各自で入力することで履歴に反映させることが可能
  - ✓すべての研修履歴一覧のほか、校内での面談に活用できる「面談用シート」も出力が可能

### 【研修履歴票】

- ・2012年度以降の受講履歴の一覧が表示される。

研修履歴一覧シート（研修履歴票表示）		研修履歴票										研修履歴票																			
年度	研修種別	研修名称	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施形態	研修実施者	研修実施機関	研修実施内容	研修実施結果	研修実施評価	研修実施評価	研修実施評価	研修実施評価	研修実施評価	研修実施評価	研修実施評価	研修実施評価	研修実施評価	研修実施評価											
2022	研修履歴	研修名称	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施形態	研修実施者	研修実施機関	研修実施内容	研修実施結果	研修実施評価	研修実施評価	研修実施評価	研修実施評価	研修実施評価	研修実施評価	研修実施評価	研修実施評価	研修実施評価	研修実施評価											
		センター主催研修会の一覧										県教委・教育事務所・市教委・NITS等主催の研修会の一覧										その他の研修会の一覧									

## (3) 具体的な活用場面

### 「研修履歴を活用した受講奨励」

研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励については、人事評価制度との違いを留意しつつ、人事評価の面談の機会を活用することができる。

#### ◆年度当初の管理職面談において

- ・教員一人ひとりの職責、経験、適性に照らした人材育成の観点
- ・学校教育目標の達成のために必要な専門性・能力の確保などの観点から過去の研修履歴を活用し、指導助言を行う。

#### ◆年度末の管理職面談において

- ・OJTや校内外研修等の実施状況を踏まえ、研修履歴を振り返りながら、今後の資質向上のための指導助言を行う。

## 【面談用シート】

- ・管理職との面談に活用できるシート
- ・「本年度のみ」「過去3年間」「2012年度以降のすべての期間」を選択して印刷できる

### 山田 太郎 の研修履歴

16年目	養護教諭 生徒指導主事 進路指導主事 司書教諭	本年度の担当テスト	教科入力テスト
------	-------------------------	-----------	---------

※育成指標の「学」は「養護教諭・栄養教諭の専門領域」に読み替えてください

#### 必須記録研修

年度	分類	研修講座名	素	学	生	特	ICT
2022		宝達志水町立相見小学校 養護教諭 生徒指導主事 進路指導主事 司書教諭 本年度の担当テスト					
2022	GIGA	新たな授業づくり研修 <b>要項</b>					
2022	課題	障害特性に応じた授業づくり④見え方が気になる児童生徒の「見る力」を高める支援 <b>要項</b>				○	
2022	課題	障害のある子どもの気になる行動の理由と対応について <b>要項</b>				○	
2022	振返	必須記録研修の振り返り入力テスト					

#### 必須記録研修以外で任命権者が必要と認める研修

日付	研修名	主催者/形態	指標
2022 12/01	研修名入力テスト1	校内研修	素学
研修の振り返りテスト1			
2023 01/14	研修名入力テスト2	要請訪問	素
研修の振り返りテスト2			
2023 01/11	研修名入力テスト3	校内研修	素特 ICT
研修の振り返りテスト3			

年度	分類	研修講座名	素	学	生	マ
2021		宝達志水町立相見小学校 教諭 2年担任、進路指導課				
2021	担当	通級指導教室担当者研修 <b>要項</b>				○
2021	課題	通級指導教室の授業づくり①LD等通級指導教室 <b>要項</b>				○
2021	振返	3年目研修では、授業での改善の他にも学級経営の面で多くの気づきがあった。また、実験の実験事例を紹介していただき、実験で得られることの大切さを感じた。今後は積極的に授業の中でできることから実験を行っていきたいと思った。				

日付	研修名	主催者/形態	指標
2022 11/10	Q-Uの活用方法	校内研修(若プロ)	学生
【特別支援教育コーディネーター〇〇先生による講義・協議】Q-Uの検査結果の見方や分析方法について理解し、実際に自分のクラスのある生徒についての支援方法について協議した。グループで出た対応策を早速実施し、早い段階で不登校の未然防止に努めていきたい。			
2022 11/19	1人1人台端末を活用した授業づくり	学校教育研究会等	学策
【高等学校長協会 理科部会の夏季研修会 〇〇大学ママ教授の講義・演習】新しい学習指導要領における理科の授業づくりと学習評価について講義・演習を通して学んだ。深い学びの実現のためには、単元や授業のまとまりの中で授業をデザインする力が必要であると感じた。			
2022 11/30	思考を促す板書の仕方	市町村教育委員会	素養
【〇〇先生の講義。模擬授業】先輩教員の右授業を受けて、先輩教員の構造的な板書の事例を知った。これまで独自でやっていたが、どのように黒板を使えばいいか、自分のアイデアもブラッシュアップすることができた。			

年度	分類	研修講座名	素	学	生	マ
2020		宝達志水町立相見小学校 教諭				
2020	担当	新任通級指導教室担当者研修 <b>要項</b>				○
2020	課題	通級指導教室の授業づくり①LD等通級指導教室 <b>要項</b>				○
2020	振返	未登録				

日付	研修名	主催者/形態	指標
未登録			

## 2023やまなし教育みらいフォーラム 事後アンケート結果

	申込人数	参加人数	回答人数
大学生	43	32	15
大学院生	1	1	1
高校生	75	67	48
合 計	119	100	64

## 事後アンケートの内容

1	あなたは	高校生	大学生			
2	出身地	山梨県出身で現在も山梨県在住	山梨県出身で現在県外在住	他の都道府県出身で現在山梨県在住	その他	
3	フォーラムの参加は何回目ですか。	初めて	2回目	それ以上		
4	フォーラム全体の満足度	満足	おおむね満足	やや不満	不満	
5	3. で「満足」、「概ね満足」と答えた理由	(自由記述)				
6	3. で「やや不満」、「不満」と答えた理由	(自由記述)				
7	第1部の満足度	満足	おおむね満足	やや不満	不満	
8	6. で「満足」、「概ね満足」と答えた理由	(自由記述)				
9	6. で「やや不満」、「不満」と答えた理由	(自由記述)				
10	第2部の満足度	満足	おおむね満足	やや不満	不満	
11	9. で「満足」、「概ね満足」と答えた理由	(自由記述)				
12	9. で「やや不満」、「不満」と答えた理由	(自由記述)				
13	第3部の満足度	満足	おおむね満足	やや不満	不満	
14	9. で「満足」、「概ね満足」と答えた理由	(自由記述)				
15	9. で「やや不満」、「不満」と答えた理由	(自由記述)				
16	現在、学校の先生になりたいと考えていますか。	なりたいと考えている		なりたいと考えていない	どちらともいえない	
17	学校の先生になるなら、どの校種または職種の先生になりたいですか。	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	養護教諭 栄養教諭
18	山梨県で学校の先生になりたいと思いますか。	はい		その他(自由記述)		
19	フォーラムについて、ご意見・ご要望があれば自由に書いてください。	(自由記述)				

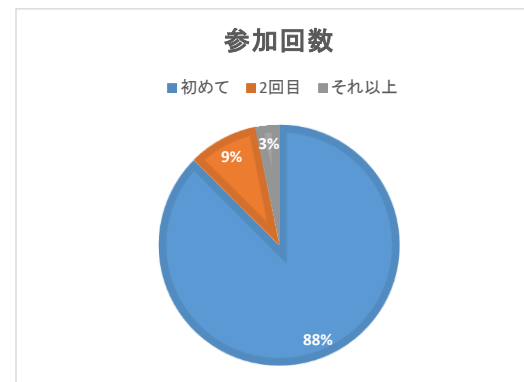
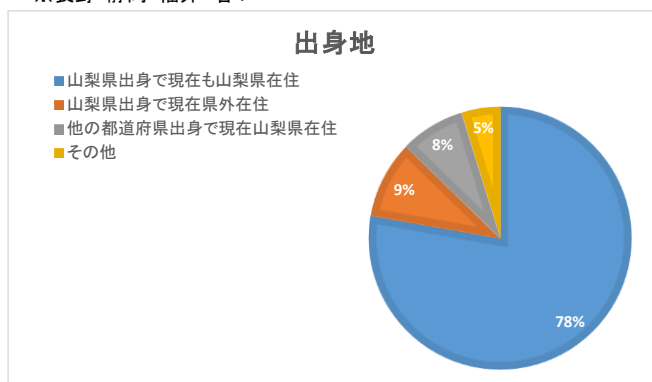
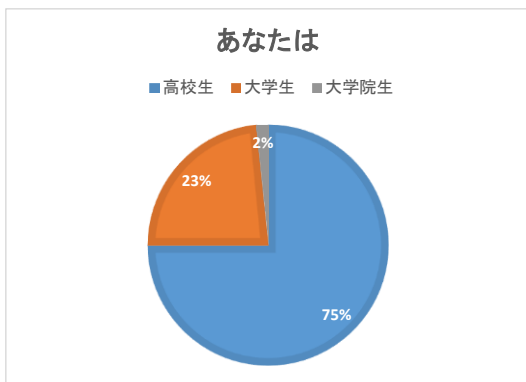


質問1	あなたは		
	高校生	48	75.0%
	大学生	15	23.4%
	大学院生	1	1.6%

質問2	出身地		
	山梨県出身で現在も山梨県在住	49	77.8%
	山梨県出身で現在県外在住	6	9.5%
	他の都道府県出身で現在山梨県在住	5	7.9%
	その他	3	4.8%

質問3	フォーラムへの参加回数		
	初めて	56	87.5%
	2回目	6	9.4%
	それ以上	2	3.1%

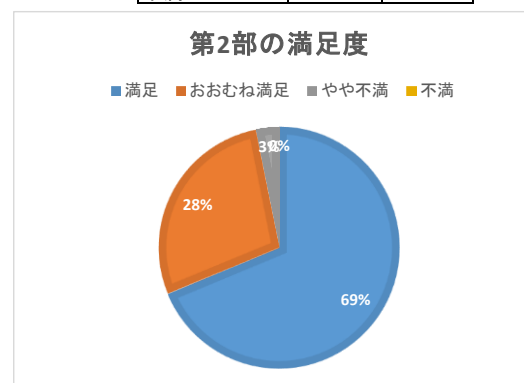
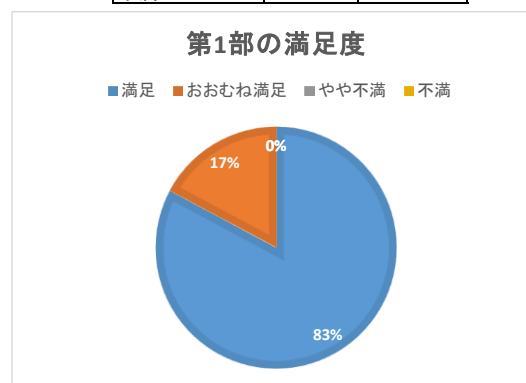
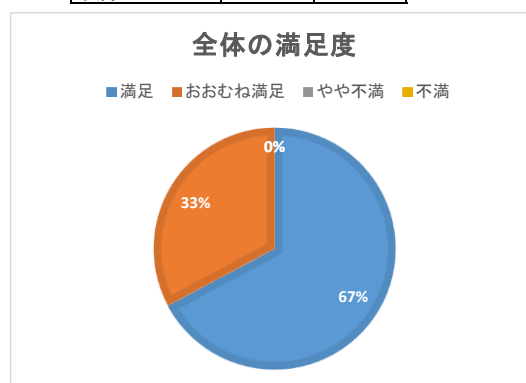
※長野・静岡・福井 各1



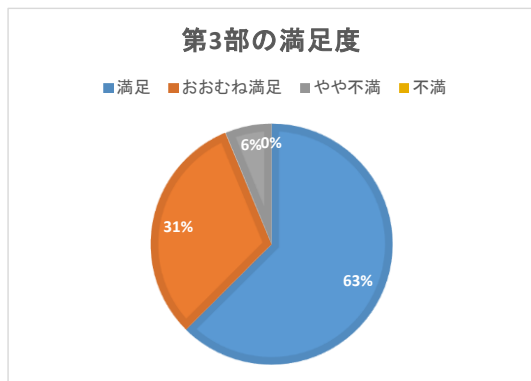
質問4	全体の満足度		
	満足	43	67.2%
	おおむね満足	21	32.8%
	やや不満	0	0.0%
	不満	0	0.0%

質問7	第1部の満足度		
	満足	53	82.8%
	おおむね満足	11	17.2%
	やや不満	0	0.0%
	不満	0	0.0%

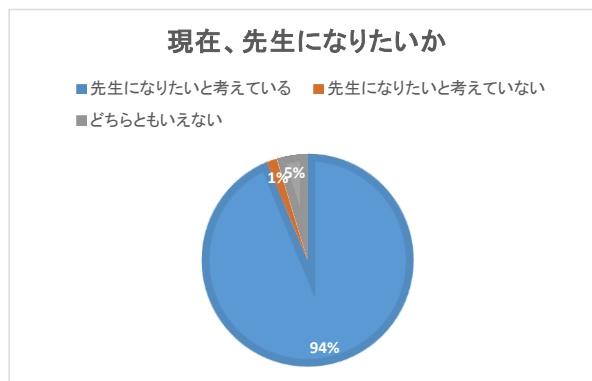
質問10	第2部の満足度		
	満足	44	68.8%
	おおむね満足	18	28.1%
	やや不満	2	3.1%
	不満	0	0.0%



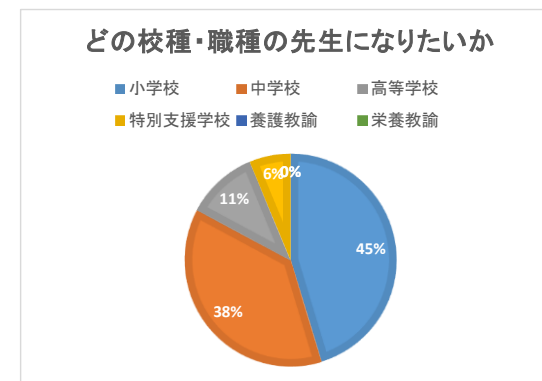
質問13	第3部の満足度		
満足	40	62.5%	
おおむね満足	20	31.3%	
やや不満	4	6.3%	
不満	0	0.0%	



質問16	現在、先生になりたいと考えているか		
先生になりたいと考えている	60	93.8%	
先生になりたいと考えていない	1	1.6%	
どちらともいえない	3	4.7%	

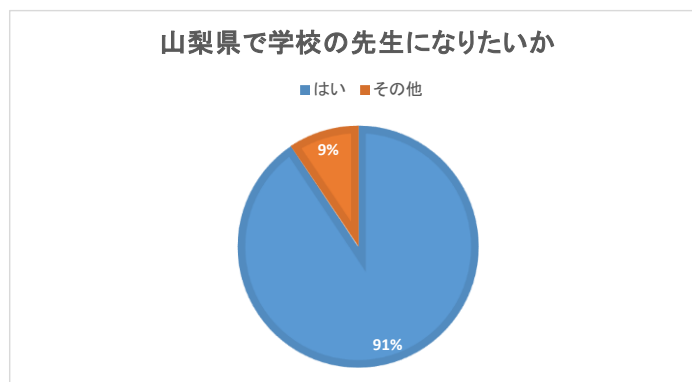


質問17	どの校種の先生になりたいか		
小学校	29	45.3%	
中学校	24	37.5%	
高等学校	7	10.9%	
特別支援学校	4	6.3%	
養護教諭	0	0.0%	
栄養教諭	0	0.0%	



質問18	山梨県で学校の先生になりたいか		
はい	58	90.6%	
その他	6	9.4%	

※出身の県もしくは他県でなりたい 4  
 ※幼稚園教諭になる 1  
 ※選択肢の一つとして考える 1



R3～R5経年比較

申込人数(人)

	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R4→R5増減
大学生	43	54	43	-11
大学院生	0	3	1	-2
高校生	111	111	75	-36
全体	154	168	119	-49

全体満足度(%)

	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R4→R5増減
満足	60.8	77.8	67.2	-11
おおむね満足	36.5	21.1	32.8	12
やや不満	2.7	1.1	0.0	-1
不満	0.0	0.0	0.0	0

学校の先生になりたいと考えているか(%)

	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R4→R5増減
考えている	87.8	91.1	93.8	3
考えていない	2.7	2.2	1.6	-1
どちらともいえない	9.5	6.7	4.7	-2

参加人数(人)

	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R4→R5増減
大学生	34	41	32	-9
大学院生	0	2	1	-1
高校生	104	96	67	-29
全体	138	139	100	-39

第1部満足度(%)

	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R4→R5増減
満足	74.3	72.2	82.8	11
おおむね満足	23.0	26.7	17.2	-10
やや不満	2.7	1.1	0.0	-1
不満	0.0	0.0	0.0	0

どの校種、職種の先生になりたいか(%)

	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R4→R5増減
小学校	37.8	32.2	45.3	13
中学校	41.9	45.6	37.5	-8
高等学校	17.6	16.7	10.9	-6
特別支援学校	0.0	4.4	6.3	2
養護教諭	1.4	1.1	0.0	-1
栄養教諭	1.4	0.0	0.0	0

アンケート回答人数(人)

	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R4→R5増減
大学生	19	20	15	-5
大学院生	0	1	1	0
高校生	55	69	48	-21
全体	74	90	64	-26

グループ討論満足度(%) (R3・4年度は第2部、R5年度は第3部の満足度)

	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R4→R5増減
満足	58.1	80.0	68.8	-11
おおむね満足	32.4	17.8	28.1	10
やや不満	9.5	2.2	3.1	1
不満	0.0	0.0	0.0	0

山梨県で学校の先生になりたいか(%)

	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R4→R5増減
はい	90.5	90.0	90.6	1
その他	9.5	10.0	9.4	-1

フォーラム全体が「満足」、「概ね満足」と答えた理由			フォーラム全体が「やや不満」、「不満」と答えた理由	
大学生・大学院生	高校生		大学生・大学院生	高校生
パネルディスカッションの際、先生方から非常に充実した貴重なお話をお聞きすることができた。また、教師への情熱や魅力を改めて感じることができ、現場に出ることが楽しみになるような大変良い時間になったと感じた。	もう少し時間が欲しかったです。けれど、普段は聞けない先生の話が聞けたのが良かったです。その一方で、先生になることのデメリット知りたかったです。	普段聞くことのない先生方の経験や考えを聞くことができてよかったです。また、グループ討論では、同じ夢を持つ方と期待や不安を共有することができて、貴重な時間になりました。	実際に現場に立つ先生方からのお話を聞けたうえ、教員を目指す方々とディスカッションを行い考えを共有できたため。	
実際に教員として働かれている先生方のお話をお聞きすることができた。一方で、ブレイクアウトルームで参加者の方の実習などのお話もお聞きしたいなと思った。	実際に現場で働いている先生方のお話や、山梨独自で推進されている25人学級などの話を聞いて詳しく知ることができ、フォーラムに参加する前より具体的に教職について知ることができたから。	内容はとても、ためになり貴重なお話を聞く機会ができて良かったです！ですが、もう少しだけ、グループディスカッションの時間が欲しかったです。	調べてわかることだけではなく、先生方の生の声を聞けたことや山梨の教育環境についてのこと、同じ夢を持つ仲間たちと話ができたことがとても有意義だった。	
センターの方から答えていただいた内容については非常に貴重な情報であると感じました。質疑応答の時間が短く感じた点が物足りなかったです。	自分の教職への知識把握と重ねて、知らないリアルな面を知れたという点でも満足しています。	パネルディスカッションは、教員のリアルを知れて良かったです。また、話し合いもできて考えが深まりました。	実際、教育現場で働いている先生方のお話を聞いて、教員の魅力を改めて感じることができたから。	
山梨の教育について、知らなかったことが分かりとても学びになりました。今日知ったことが、私の教員を目指す未来につながったのでとても満足です。	現在教員として働いていらっしゃる先生方のお話を聞いて、子どもたちとどんなふうに関わっているのか、どこに楽しさを感じているのかなど多くのことを学べたのでとても有意義な時間でした。	教員の魅力を知ることができたから。実際に山梨で働いている先生方のお話を聞くことができ、教員について詳しく知ることができたから。	教員という職業について知れて良かったのはもちろん、同じ目標に向かう多くの学生さんの皆さんを知れたのも嬉しかった。	
実際に山梨県で働く先生方のお話を聞いた。	今まで知らなかった、山梨県の制度について知れたから	パネルディスカッションで、実際の先生達の本音を聞くことができたから。	小中高と、色々な学校で働く先生方の話を聞くことが出来たから。	
実際の教員の方のお話を聞くことができたから。	現在教員として働いている方の意見を聞くことができ、参考になりました。	経験も踏まえて話してくれたから	第3部のグループ討議でいろんな人の意見を聞くことができたから。	
ブレイクアウトルームの時間で悩みが解決できたため。	知らないことを知れたから	教員の方々の話を聞くことができたから。	グループ討議がすごく有意義だった。	
山梨県で教員をすることの良さや教員の仕事について考えることができたから。	実際の先生の声を聞けたから	実際の教員の話を聞くことができ、さらにグループで意見交換もできて良かった	教員についていろいろと知ることができたから	
山梨で教員になる背中を押してくれるような具体的なエピソードや、実際に山梨県で行っている取り組みについて取り扱っていた内容だったため。	山梨県で働く先生方からたくさん情報を得ることができてとても充実していました。ディスカッションの時間をもう少し長くって頂きたいと思いました。	山梨県で働いている現場の先生の生の声を聞くことが出来、教育現場の今を多く知ることが出来たためです。	現役で働いている先生方のお話を聞くことができてとても貴重な経験ができた	
先輩教員の方々の話や現在山梨県で行われている取り組み、最後の討論全てでとても有益なお話を聞くことが出来ました。	聞きたかったことが聞けた。	先生方や生徒のありのままの意見を知ることができたから	意見交換ができたから	
山梨県の教育に対する取り組みを具体的に知ることができました。	実際に働く先生方の話や制度など、教員現場の雰囲気がいずれも鮮明に感じることができた。	将来、学校の先生になるということへの疑問や不安が少しでも解消したから	教員になることに対してもっていた不安や疑問などがかなりなくなった	
具体的な話が聞けて、有意義な時間になった。	山梨県の魅力、山梨で教師をする利点を体験談、行われている活動を通して知ることが出来たから。	様々な分野の先生録型の話が聞けた	実際の教育現場についてのことを知る良い機会となったから。	
教員という職業に対してもっと興味を持つことができたから	同学年の方々と教師について話れたから	様々な人と交流出来たから	さまざまな人の意見が聞けたから	
山梨で教員をされている方々のリアルなお話を聞いた点。第3部でのディスカッション。	とても貴重な経験になりました。しかし、3部のブレイクアウトルームでの話し合いの時間をもう少し長く頂きたかったなと思います。	パネルディスカッションの先生方から直々に体験を聞くことができたのが良かった。グループ討議の時間はもう少し欲しいと感じた。	貴重な話を聞いて良かった	
実際に現場で教員として働いている方のお話を伺う機会はありませんので、お話が聞けてとても勉強になったため。	教員に関する知識や、学校教育の実態を知れてよかった。	将来についてしっかりと向き合えたから。	今後の自分の進路に当てはまっていたから	
	同じ職業を目指す人たちの意見が聞けたから	山梨県で教員になる良さを知れたから		

第1部が「満足」、「概ね満足」と答えた理由			第1部が「やや不満」、「不満」と答えた理由	
大学生・大学院生	高校生		大学生・大学院生	高校生
校種が異なる先生方が揃っていたので、色々な立場からのご意見を参考にさせていただくことができました。	山梨県で教師を行う理由が知れてよかったです。また、小学校、中学校、高校、支援学校などそれぞれの魅力があり職業選びの幅が広がりました。	山梨県で教員をする魅力を実際に教員として働いている先生方から聞くことができてよかったです。楽しい授業をするために工夫していることだったり、ICTを使った授業はどんなものをしているのかだったりもう少し具体的な話もお聞きしたかったと思いました。	先生方が教員をする上でどんな時に嬉しきややりがいを感じるのかを具体的に説明して下さったから。	
様々な校種の先生方のお話を聞くことができて、やっぱり教員になりたいという思いが強くなりました。いきいきとした姿を見ることができたので良かったです。もう少し、大変なことについてお聞きしたかったです。	先生方の実際の生の声を聴く機会は貴重なので、パネルディスカッションを通して教員について深く知れたことはとても良かったです。	先生方のお話を踏み入った所まで伺えて、とても身になった。先生方のコミュニケーションも明るく朗らかで、先生方から教育への偽りのない情熱がひしひしと感じられ、より教師として一緒に働きたいと思えたから。	いろんな学校の先生に自身の魅力や教員の魅力を聞くことができたから。	
実際に働いている現状の声が聞けてとてもありがたかったです。	先生方の考えや経験を知ることができたから。もう少し質疑応答の時間があるとよいと感じました。	様々な校種の働き方を聞けて、学びになりました。	6人の先生方の教育への情熱を知ることができたから。	
実践の場で感じたことなどを具体的に話して頂き、学校現場についての展望を見ることができた。	実例をしれたから	実際に教育現場で働く先生方のお話を聞き、具体的な学校の先生という職業のことが知れたから	リアルな体験談と、自分がこれからどのような考えようで教職に向き合っていくかを考えることができた。	
現職の先生方の話を聞くことができたから。	育休が備わっていたり少人数制で仕事が少ないのであつたりすることがわかったから	実際の先生達の本音を聞くことができたから。	色々な立場からの、教職の魅力を知れてよかったから	
実際に働いている先生の活き活きた顔を見ることが出来たから。	実際に授業を行っている先生方の意見が聞けたから	実際の教育現場のことを詳しく聞けたから	実際の声を聞いて良かった。	
実際に働いている教師の話を聞く機会はなかなか無いから。	現在、教師として仕事されていることのリアルなことを知れて良かった	教員の本音を聞くことができたから。	今、実際に学校現場にいる先生の生の声がとてもいいアドバイスになった。	
教員になろうと思ったきっかけから、教員になって感じたことまで高校生から大学生と広い対象に向けたテーマだったから。	山梨で教員になる良さを感じることができたから。	実際に現場で働いている先生方から、山梨県は教員になるには良い環境であることや教職の魅力、働き方改革がされていることなどを伺えたから。	現場の声をいろいろと聞くことができたから	
パネルディスカッションの際の先生方の児童・生徒のことを話す際の熱意というものを感ぜられ、改めて自身も教員を目指したいという気持ちになりました。	普段はなかなか質問しにくい小学校や中学校の先生方のお話を聞くことができてとてもよかったです。山梨県の特徴を踏まえた教員の魅力を知ることができました。	今の学校現場はどういうもので、そこで実際に働いている先生方は何を思っているのか、多方面から知ることが出来たため、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。	小学校、中学校など違う職場ではたらいっている先生方でも、子供のできた！嬉しい！という表情や成長を感じられることがやりがいにつながるという共通した部分があると知れて、教員になりたいという気持ちが強まった。	
様々な校種の先生方のお話を聞くことができたからです。	先生になることのデメリットも知りたいと感じました。	現場の雰囲気ややりがいをよく知れたから	現場の声を聞いてよかった	
生の声を聞いた	新たな教員の魅力を知れた。	先生方の活き活きとお話している様子を見て、より教員を目指す心が固まりました。	楽しさが話し方から伝わってきた	
現場での教員の声を聴くことができたため	実体験をなかなか聞く機会がないのでとても良かった。参考になった。	自分が将来教員になった時のことが想像できた	教師の方の経験を知ることができたから。	
山梨県でしか得られない、山梨県ならではの魅力を知ることができた。	先生方のリアルな仕事を聞くことができたから。	実際に先生方の意見を聞くことが出来たから	実際の先生からはなしがきたから	
実習では、教員の皆様の教員になるまでの経緯や働いて感じていることなどはなかなか聞けないことだと思うので、本音を聞ける機会としてとても良い機会になりました。	校種、職種が様々な方からのお話を聞いて、勉強になりました。	教員の生の声を聞くことができたから。	身近な先生とは違う境遇の先生方のお話を聞いて新たな視点で魅力に気づいた	

第2部が「満足」、「概ね満足」と答えた理由			第2部が「やや不満」、「不満」と答えた理由	
大学生・大学院生	高校生		大学生・大学院生	高校生
私は現在、県外に住んでいるので、山梨の教育についてあまり知識がなかったのですが、少人数教育が進められていることを知り、より一人ひとりに目が向けられるようになったのが良いなと思いました。私が目指す児童一人一人に信頼される教師になりたいという夢に近づけるような方針だと思いました。	山梨が現在実施している、教育現場の課題への対応策についてしれたので、山梨県の教育者になりたい私にとって、身近に山梨の教育を考える貴重な機会になりました！	子供の人数が減っているからこそ25人学級や、地域での部活動の取り組みなど一人一人に合わせた教育ができること、その取り組みによる教員の負担削減などを詳しく知ることができました。	山梨県独自の取り組みを具体的に学ぶことができたが、既に大学の講義などで学んでいる内容と重複している部分があり、新しい情報を得ることができたより満足できたと思った。	新たな知識を身につけることができた
25人学級や部活動の地域移行のお話を聞いて勉強になりました。教員という仕事は業務が多く、とても大変だと考えていましたがこのような取り組みがあることを学べてよかったです。	少子化の問題を受けて、教員の負担を減らす様々な取り組みが進められていることがわかりました。法律に関わる話などはもう少しゆっくりに説明して下さると嬉しいです。	少人数学級のよさや部活動の地域化など、学校の変化を多く感じられ教師が働きやすい環境が整えられていると感じました。	働き方改革に対して、部活動の地域移行や少人数学級など独自の取り組みにより先生方の負担が軽減され、より子どもたち一人ひとりに合った教育を行うことが出来ていると知った	
山梨県独自の取り組みについてこれまであまり理解しておらず、重要な知識となりました。	山梨での取り組みについて、具体的に知ることができたから。	教員になるか迷っている人には、とても大事なのではないかと思います。	25人学級の良さを知り、これからの教員の働き方を学ぶことができたから。	
直近のリアルな学校現場の実態として個人的に気になっていた、部活動の地域移行について大変具体的に細かいご説明をいただくことができた為。また、山梨の取り組みである25人学級についてのお話も大変具体的にわかりやすかった。今後の取り組みについて知ることが出来たから。	個人なかつたことをしれた	もっと教職に興味を持てた	現在の山梨県の現状を聞き、部活動の地域移行の話はは職業選択への一つの材料になった。	
働き方改革の内容を知ることができたから。	部活の地域化について、完全に地域に移行するのではなくやりたいという意思がある人は部活に参加できるのいいと思ったから	クラスの少人数制度などについて聞けたから。	ブラックと言われている教職に対しての取り組みがなされていることを知り、安心したから。	
少人数教育制度について改めてどのような制度なのかを知ることができたから。	山梨県の少人数教育についてその良さを知ることができよかったです。	山梨県の取り組みについて知ることができたから。	現在、教育現場で起こっている変化を知れたのが良かった。	
先生方が安心して児童生徒へ指導するために、このような環境作りが支えているのだとわかった。	私は山梨の出身ではないので知らないことが多かったのですが、将来は山梨で教員になりたいと考えているので、良い学びとなった	山梨県の教育を詳しく知ることができたから。	どちらの話題も自分がとても気になっていた部分で分かりやすく、ためになった。	
25人学級には興味があったので深く知ることができて良かったです。	今、どのような取り組みが山梨で行われているか知ることができ、働きやすい環境が整えられていることを感じる事ができたから	山梨県独自で25人学級や部活動の改革などが行われていることを知れたから。	取り組みの内容がよく理解できたから	
わかりやすかった	留まり続けずに変容する教育のあり方に興味を持った。今回はメリットだけであったが、課題点も知りたかった。	山梨県の教育についてたくさん知ることができたので、自分が将来山梨で教員として働く姿を描きやすくなりました。	このような取り組みを行っているのか、と自分の知らないことを知ることができたから	
部活動などに対して支援があることを知れたから	部活動の今後の体制がわからなかったが話を聞いてわかったから	不安だった部活動地域移行についてこたえてくれた	発見があった	
細かい説明がありがたかったです。	部活動の地域移行の仕組みについてもわかって良かった。	自分が気になっていた部活動の地域移行について詳しく知ることができたから。	少人数教育や自分の知らないことについて知れたから	
山梨県の取り組みなどを知ることができたから。	グラフ・表を使っているのが分かりやすく、山梨県の取り組みを理解出来たから	山梨県の教育について考えられたから	山梨県の取り組みについての理解を深めることができたから。	
	山梨県の状況等は調べても見つけるのが難しかったので話を聞いてよかったです	教員になる時に役に立つ情報を得ることが出来たから	部活動が今後どうなるのか詳しく知ることができたから	
	ブラックだとお聞きしていた教員も、たくさん支援があると知り、希望が持てました。	教員になるにあたって有益な情報を仕入れることができたため。		

第3部が「満足」、「概ね満足」と答えた理由			第3部が「やや不満」、「不満」と答えた理由	
大学生・大学院生	高校生		大学生・大学院生	高校生
私は幼稚園に就職することが決まっております。どういった風に討議に参加すればよいか悩んでいましたが、センターの方が話を振ってくださり、目指す職種は違っても情報を共有することができてとても良かったです。	時間が足りなかったです。またリモートならではの難しさを感じました。	様々な新しい人と触れ合える機会は大切だと感じました。しかし、時間設定、通信設定を考慮して欲しいと思いました。	自分と同じ志を持つ方々と話が出てよかったです。	もう少し討議する時間が欲しかったと感じた。
現在教員になる可能性がある人たちとディスカッションすることで、自分の教員になりたいという気持ちがより強くなりました。不安などがありますが、同じ悩みを抱えている人を知ることで少し安心しました。	近い年齢の人たちと悩みや意見の共有ができてよかったです。	同じ志望先をもった方々の意見や思いを聞くことができ、自分の考えを深めることができたから	自分と同じ進路を考えている人や同じ不安を持っている人となかなか話す機会がなかったので参考になったから。	時間がたりない
散発的な質問であっても丁寧に答えていただいたことが非常にありがたく、教員という仕事に対するイメージがより鮮明になりました。	学校で同じ夢をもつ人があまりいないので、実際に同じ夢をもつ方と意見を共有できていい時間でした。	先生の声だけじゃなく、同学年の人達からのように思っているかなどを聞くことができたから。	同じ教員を目指している仲間の教育に抱えている思いを知ることができたから。	リモートだと話し合いにくい
自分と同じような疑問を持っている方がいたのでそれを共有できたり、ファシリテーターの方から現場のお話を聞くことができて充実した時間でした。もう少し討議の時間が長ければ良かったと思いました。	教師を目指す人のさまざまな意見が聞けたから	同じ志を持つ人と情報交換できたから	自分が持っている意見とは違う意見を持っている方がいらつしゃって、そのような意見もあると、とてもいい学びの機会となった。	時間が少なすぎたから
教職を志す同世代の方とお話することができた。様々な悩みや不安を共有することができた。	自分の意見を発表し、いろんな人の意見も聞けてよかった	あと5分時間があれば深く話ができたと	他の人の意見が聞けて視野が広がったから。	
一対一だったため、気になっていたことがたくさん聞けて、楽しくあつという間時間となったため。	他の参加者のみなさんがどうして教員を目指しているのかだったり、不安なことを共有できたりして、よかったです。	自分以外の意見や考えを聞いて楽しかった。	時間は短かったけれど、同じ目標に向かう学生の方の声を聞いたのが良かった。とても貴重な機会だった。	
討議をすることで様々な意見を知ることができたから。	同年代の同じ教員を目指す人たちと少ない時間だったが考えを共有できてよかった	お互いの考えを伝え合うことが出来、それぞれの考えにとっても感銘を受けました。	自分と同じような立ち位置の人と同じような悩みの部分をいろいろな話を聞いてとてもためになった。	
もう少し時間があればもっと話し合いをして深められたかなと思った。	教員を志している同級生と意見交換することができ、よかった。もう少し時間がほしかった。	マイクが起動しなくてタイピングでの参加となってしまったが、皆さんの考えを様々な視点から知ることができたから	自分の抱えている不安を話すことができ、またそれについての意見をもらうことができたから	
実際に働かれている方のお話を直接聞き質問できたのはとても有意義でした。しかし、お話ししたい内容が時間の関係上しきれなかった点が残りました。	年の近い他校の生徒の考えを聞くことができてとても充実した時間になりました。もう少し討議の時間を延長して頂きたいと思いました。	同じ教員を目指している同級生の話を聞き、自分も話すことで、モチベーションが高まった	同じ小学校教員を目指す人とお話することが出来てとても有意義な時間だった。	
世代の違う参加者同士で情報共有ができたから。	少し時間が短かったが良かった。	将来の職業に当てはまっていたから	いい討論ができた	
質問に多く答えていただけた	不安を相談となると踏み込んだ話になってしまう為少し時間が足りなかった。	同じ悩みを持つ人がいることに気がつくことが出来たから	同い年の意見などがとても参考になった。	
いろんな人と今自分が抱えている問題を共有することができたため	少人数で、総合センターの実際のお話を聞くことができ、お悩み相談会のようなとても柔らかい雰囲気でした。	他の人の意見を聞けたし、自分の意見を言えたから	多様な意見に触れ、自分の考えを深めることができ、疑問などを解決できたから。	
全体では質問しにくいことを質問することができた。	普段中々話す事が出来ない同世代の人と話す事で、今の教育に対して同じ視点から考えを深められたのがとてもためになりました。	自分とは違う考え方を持った人の話を聞いたことで考えが広まった。	同じ職業を目指している者同士で意見交流ができ、とてもさんこうになったから	
短い時間の中でも、色々な方と意見交換・交流でき、コミュニケーションをとれたため。	同年代の、言うならば同志と話すことができ、モチベーションを上げることができました。もう少し時間が欲しかったです。	同じ志を持った仲間の存在をとても近くに感じられ、心強く思った。		

フォーラムについて、ご意見・ご要望		
大学生・大学院生	高校生	
参加して良かったと強く感じる、素敵なお時間でした。貴重なお話をありがとうございました。	山梨県の学校の先生になりたいと考えている人をサポートしたいという県の思いも伝わってきました。先生になりやすい環境をこれからも作っていただきたいです。	直接お話を聞く形式を取りつつ、オンラインでも参加できるような形態だと、より質問等もしやすく、相手のことも知ることができかなと思いました。今回のフォーラムが初めての参加でしたが、実際に働く先生方のお話や同じ志望先をもった方々とのグループ討議では、自分の考えを深めたり、学校の先生という職業への興味・関心を高めたりすることに繋がりが、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
オンラインでの開催は気軽に参加することができたので、良かったなと思います。とても有意義な時間になりました。ありがとうございました。	グループ討議の時間が少なすぎました。また、第一部の実際に働いている先生への事前質問を全員分回答してほしいなと思いました。その場で時間がないなら事前質問に対する答えを前もって先生たちに聞いて資料として提示するべきだと思います。	機会があれば来年度も参加したいですが、私は来年度高校3年生となるので、今の時期だと受験があり参加するのが難しいと思います。夏休み前ぐらいに開催してほしいです。
学校の先生の授業以外のお仕事について知れたらと思う。	パネルディスカッションに関してはもう少し具体的な話をするのがいいと思いました。	ブレイクタイムがとても楽しかったのでもう少し長い時間でまた行って欲しいと思いました。
ブレイクアウトルームの時間をもう少し伸ばして欲しい。	ブレイクアウトルームの時間が少し短いと感じた	グループ討議の時間を伸ばして欲しい。
	ブレイクアウトルームの時間をあと5分増やしてほしいです。	貴重な機会をありがとうございました。
	音楽・美術などの芸術科目を担当する先生方のお話を聞いてみたいと思いました。	もう少し長い時間でグループ討議を行いたかった。
	貴重な経験になりました。ありがとうございました。	最後の生徒間の交友時間をもっと長くればな思いました
もう少し、討論の時間を設けて欲しいです		とてもいい体験ができた



## オンライン研修動画コンテンツについて

山梨大学教育学部

文部科学省・令和5年度教員育成高度化推進事業（「新たな教師の学び」に対応したオンライン研修コンテンツ開発事業）として、山梨大学附属教育実践総合センター・やまなし情報教育推進室がオンライン動画研修コンテンツを作成

### 1) コンテンツ名

やまなしメソッドによる個別最適な学びと協働的な学びを実現するICTを活用した授業づくり（期間：令和5年9月～令和6年1月）

### 2) 内容

やまなしメソッド（校種間を接続させた指導法の開発）の視点から、小・中・特でのICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業づくりのポイントを解説する。実践事例の紹介や簡単な演習を通して、視聴した初任者・中堅教員が、一人一台端末を用いた効果的な授業が実践できること、情報技術による児童・生徒の情報活用能力及び思考力・判断力・表現力を伸ばす授業づくりへの具体的展望が持てることを目的とする。

### 3) 閲覧方法（4月より運用開始）

- ・山梨大学教育学部HP（情報教育推進室HP）で公開
- ・R6年度より文科省が新設する研修プラットフォームからも入れることができる
- ・無料公開だが、ログインID・パスワードを付し申込者（現職教員）に提供

### 4) 申込み手順

- ・HP（作成中）から、FORMに必要事項を記載して申込み
- ・推進室よりログインID・パスワードが送付され、閲覧可能に

### 5) 動画の活用について

#### 研修

- ・総合教育センターの研修
- ・校内研、講習会等での使用 → 広報の必要あり

#### 大学での授業

- ・授業担当者による意見交換会で活用検討

授業担当者：ICT活用入門、教育の方法及び技術、教育相談、各教科指導法（小中幼特）、授業実践演習

教育学部 HP よりログイン (公開前)



### 理論編

個別最適な学びと協働的な学びを実現するICTを活用した授業づくり  
**理論編① ICT活用総論**  
山梨大学教育学部

理論編① ICT活用総論 山梨大学教育学部 三井一希

理解度チェック

個別最適な学びと協働的な学びを実現するICTを活用した授業づくり  
**理論編② 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実**  
山梨大学教育学部

理論編② 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 山梨大学教育学部 志村結美

理解度チェック

個別最適な学びと協働的な学びを実現するICTを活用した授業づくり  
**理論編③ ICT活用と情報活用能力**  
山梨大学教育学部

理論編③ ICT活用と情報活用能力 山梨県教育委員会義務教育課 古屋達朗

理解度チェック

個別最適な学びと協働的な学びを実現するICTを活用した授業づくり  
**理論編④ 小中学校でのICT活用とこれからの学び**  
山梨大学教育学部

理論編④ 小中学校でのICT活用とこれからの学び 山梨大学教育学部 杉山雅俊

理解度チェック

個別最適な学びと協働的な学びを実現するICTを活用した授業づくり  
**理論編⑤ 特別支援学校でのICT活用とこれからの学び**  
山梨大学教育学部

理論編⑤ 特別支援学校でのICT活用とこれからの学び 山梨大学教育学部 永田真香

理解度チェック

理論編 5本×15分  
(理解度チェックつき)

### 実践編

個別最適な学びと協働的な学びを実現するICTを活用した授業づくり  
**実践編① 小学校での事例1**  
山梨大学教育学部

実践編① 小学校での事例1 山梨大学教育学部附属小学校 村田祐樹

理解度チェック

個別最適な学びと協働的な学びを実現するICTを活用した授業づくり  
**実践編② 小学校での事例2**  
山梨大学教育学部

実践編② 小学校での事例2 甲府市立中道北小学校 多田早菜子

理解度チェック

個別最適な学びと協働的な学びを実現するICTを活用した授業づくり  
**実践編③ 中学校での事例1**  
山梨大学教育学部

実践編③ 中学校での事例1 山梨大学教育学部附属中学校 小松理明

理解度チェック

個別最適な学びと協働的な学びを実現するICTを活用した授業づくり  
**実践編④ 中学校での事例2**  
山梨大学教育学部

実践編④ 中学校での事例2 甲州市立松里中学校 雨宮友久

理解度チェック

個別最適な学びと協働的な学びを実現するICTを活用した授業づくり  
**実践編⑤ 特別支援学校での事例**  
山梨大学教育学部

実践編⑤ 特別支援学校での事例 山梨大学教育学部附属特別支援学校 村田浩樹

理解度チェック

### 実践編

5本×15分